

日本看護技術学会 第20回学術集会 交流セッション 日本看護技術学会 第4回若手の会 活動報告

開催日時：2022年11月6日

開催場所：日本看護技術学会 第20回学術集会 交流セッション5

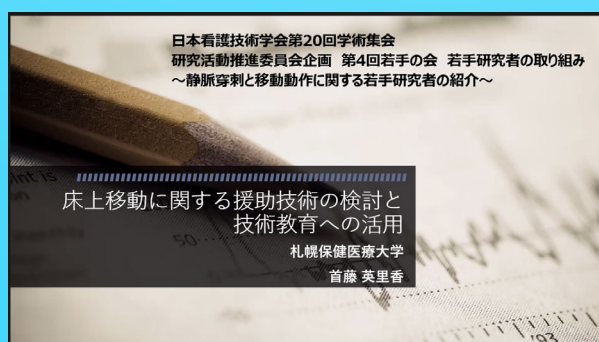
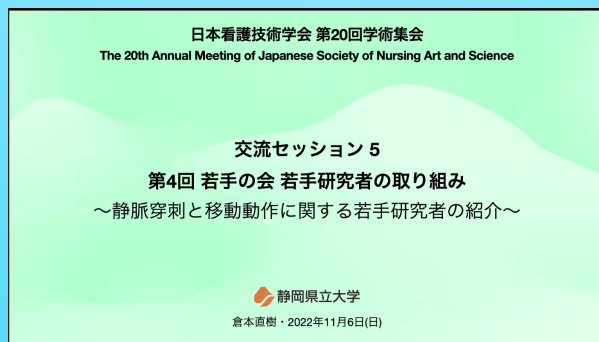
オンライン開催（大会長：水戸優子〈神奈川県立保健福祉大学〉）

「日本看護技術学会 第4回若手の会」を日本看護技術学会第20回学術集会（オンライン、大会長：水戸優子〔神奈川県立保健福祉大学〕）の交流セッションにて開催しました。今回は『**静脈穿刺と移動動作に関する若手研究者の紹介**』をテーマといたしまして静岡県立大学の**倉本直樹先生**、札幌保健医療大学の**首藤英里香先生**にご発表いただきました。先生方のご発表の中では、研究成果を社会に還元するための“産学連携研究の推進に”や“新技術の臨床への実装・普及を目指した取り組み”など、若手のみならず看護研究者にとって大変興味深い刺激的な内容でお話いただきました。当日は40名近い方にご参加いただき、質疑応答も含めまして活発な交流ができたかと思っております。ご発表いただいた講師の先生方、ご参加いただいた皆様ありがとうございました。

研究活動推進委員会では、今後も『若手の会』が若手の研究者・臨床家・教育者の皆様への情報提供や情報交換の場になるよう取り組んでまいります。今後ともご参加・ご協力よろしくお願いいたします。

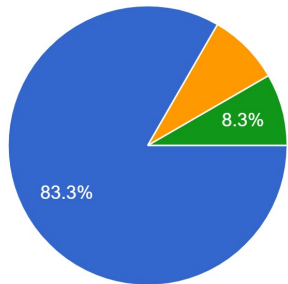
研究活動推進委員会 若手の会 担当

【当日のご発表の様子（上段：倉本先生、下段：首藤先生）】



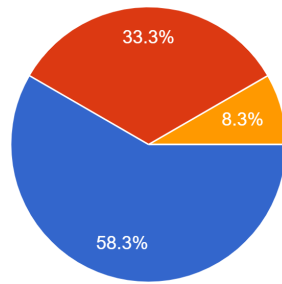
日本看護技術学会 第4回若手の会 参加者アンケート集計結果

Q1 今回の交流セッションを 何で知りましたか



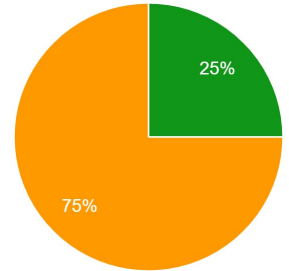
- 日本看護技術学会のHP
- 日本看護技術学会からのメール
- 指導教員からの勧め
- 学会員からのお誘い

Q2 今回の交流セッションに参加した きっかけを教えてください



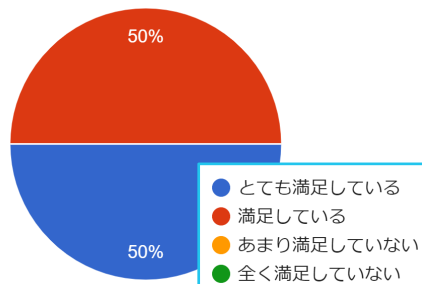
- テーマに興味があったから
- 若手の知り合いを増やしたいから
- 知り合いが参加していたから

Q3 今回の交流セッションの 時間はいかがでしたか



- かなり長かった
- 少し長かった
- ちょうどいい長さだった
- 少し短かった
- かなり短かった

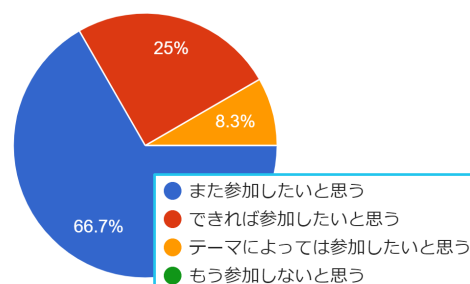
Q4 今回の交流セッションの内容はいかがでしたか<理由>



- とても満足している
- 満足している
- あまり満足していない
- 全く満足していない

- ・ 若手研究者の活動の話が聞いて励みになった
- ・ どちらの技術も現場での実践力に問題があったが、取り組みの内容がよくわかり活用できそうな内容であった
- ・ 若手の成長や悩みがよくわかる会で、会の目的が達成されていた
- ・ 発表者や参加者としてしっかり交流できた
- ・ 産学連携にも興味があったので素晴らしい研究活動をされていると感じた
- ・ 根気強く積極的に続けていくことや、論文を投稿することが重要であると思った

Q5 また次回も参加したいと思いましたか<理由>



- また参加したいと思う
- できれば参加したいと思う
- テーマによっては参加したいと思う
- もう参加しないと思う

- ・ 初めて研究に臨む方にもわかりやすく方法が示されていて、ハードルを高く感じないところが良かったため
- ・ リハビリなど多職種との研究の視点の広がりにもなったため
- ・ 技術能力を客観的に評価する必要があると考えていたため
- ・ 同じ悩みを持っている方と交流ができた
- ・ 発表を聴き、大変刺激になったため
- ・ 日々の中で研究時間を確保するのは大変だが、今後の療養環境や看護をより良くするために、情熱を失わず取り組んでいきたいと思ったため
- ・ 企画・内容が良かった

Q6 次回に希望するテーマや研究活動推進委員会への要望

【希望するテーマ】

- ・ 若手研究者の抱えやすい問題をテーマに、それらの解決方法を紹介しディスカッションしてみたい
- ・ 研究経験の少ない者や臨床の看護師も気軽に参加でき、臨床疑問を研究につなげるための「第一歩」はどのようにしたかという経験談や助言を聞ける機会がほしい
- ・ 今回のような若手研究者の活動を聞ける企画を今後もお願いしたい。

【その他】

- ・ ご担当の先生方、発表の皆様、有意義な会をありがとうございました
- ・ 今後、大卒看護師がどんどん増えると思うが、全員が大学病院や大規模病院に就職するわけではないので、そのような状況でも研究活用できる臨床家が増える機会になってほしい
- ・ 若手としては非常に遠慮してしまい積極的に質問ができなかったが、同じように研究活動をスタートさせたばかりの研究者もざっくばらんに質問できるような場が今後も作られてほしい